

値引き

加藤 誓 (ちかい)

「政府による 9.8 兆円ドル売り介入にも拘らず 1 ドル 157 円台と歴史的円安が続いている。ここ数十年間の色んな経済危機の折、国債を発行し、いわゆる借金で賄い続けたため国力が落ちているのが原因で、このままだと物価が上がり続け、インフレ状態（預金の価値が低下）となるが収入である給料や年金の上昇はそれについていけない。」との記事を読んでいたら、奥様がスーパーでの買い物からお帰りになった。



17時50分であった。

テーブルの上は、野菜や肉、魚、卵、牛乳、冷凍食品、お菓子等々で一杯になった。

「見てみて！この手羽先 20%引きよ！この、さつまいもは何と 30%引きよ！」
「今日の夕食で食べるから賞味期限は関係ないし、それに、ほら、ここに食品ロス削減の協力に感謝と書いてあるでしょ！何か良いことしたみたい！」得意げである。

テーブルの物を仕舞う手伝いをしながら眺めると、野菜も魚にも、お菓子にも値引きラベルが貼ってある。○○%引き表示と、△△円引き表示などあり、どうもスーパーマーケットな 3 軒ほど廻ってきたようだ。

「あのね、□□店は 16 時になると値引きラベルを貼るのだけれど、17 時過ぎると売り切れになるの。◇◇店は 17 時頃、値引きラベルを貼るから時間を見ながら店を廻らないといけないの。」

「とりあえず、手羽先とさつまいもで 1 杯やっていって。食品ロス削減に協力すると、どうしても夕食が遅くなってしまうわね。」

「そうだね！料理しなくても直ぐ食べられ物だし、値引き分だけうま味がアップするかもね！」といやみのようなゴマをする。

我が家は当分、円安が続いても大丈夫なようだ。

今日は、7 週間毎の糖尿病外来に行く日だ。

「毎日絶好調で、お酒も美味しく食欲も旺盛！やはり今回もヘモグロビン A1C 値は改善せず！」と勝手に主治医に弁解する。

「今日の検査値はどうだった？下がった！」と女房が聞く。

「診察時間が午前中なのが、どうも悪い。検査が 16 時からなら、20~30%検査値の値引きがあるのだが！」